



山ぼうし

- 友愛・協調・責任 -

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、正門脇の「山ぼうし小庭園」には『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』の碑(初代 PTA 会長の盛合聡氏揮毫)がある。花言葉:友情

校長メッセージ



4月8日に始業式を行い、宮古工業高校にとって大切な一年がスタートしました。訓話では、今年の学校スローガンが『47年間の集大成～共に学び合い、認め合い、支え合う宮古工業～』であることを確認しました。また、高校生活をさらに充実させるため、「本気になって学ぶこと」と「自分自身と真正面から向き合うこと」の重要性について触れました。生徒一人ひとりの夢を育みながら、教職員、生徒、保護者が一体となり、宮古工業高校としての有終の美を飾りたいと思います。

新任教職員紹介



- ①伊藤 研志 先生 (工業・黒沢尻工業高校)
- ②鈴木 孝行 先生 (工業・釜石商工高校)
- ③板澤勇太郎 先生 (数学・黒沢尻北高校)
- ④大鳥 冬樹 先生 (工業・久慈工業高校)
- ⑤斉藤 大輔 先生 (工業・黒沢尻工業高校)
- ⑥中居 恭兵 先生 (体育・宮古商業高校)
- ⑦菊池 洋平 先生 (国語・新任)
- ⑧伊藤 鷹三 先生 (工業・新任)
- ⑨野寄ほなみ 先生 (養教・釜石商工高校)

入学式～47回生の決意～

4月9日に入学式を挙行し、機械科18名、電気電子科27名、建築設備科23名、計68名の新入生を盛大に迎えました。新入生宣誓では、電気電子科の白土大地君が47回生を代表し、高校生活の決意を力強く述べました。

<新入生宣誓(抜粋)>

私達の新たな学びの場となるこの宮古工業高校は、8年前の東日本大震災による被害にも負けず、その経験や技術を生かして、あらゆる分野で地域に貢献していると聞いています。統合を来年度に控え、宮古工業高校としては最後の入学生となる私たちも、先輩方を見習い、勉強や資格取得、部活動に励み、確かな知識・技術、豊かな人間性を身に付けることを目指します。



5月の主な行事と月間生活目標

- 8 (水) PTA 総会・1学年 PTA
- 10 (金) 頭髪服装検査①
- 17 (金) 尿検査
- 21 (火) 高総体開会式
- 29 (水) 耳鼻科検診

『ルールとマナーを守る』

3 学年より 【各科歓迎会】

4月10日の午前、
全校生徒の対面式と部紹介
が行われました。午後
は機械科、電気電子科、
建築設備科の各科歓迎会



を実施しました。この行事は、各科の3年生が中心となり、新入生が科の雰囲気になれるために行われるものです。

緊張の面持ちで始まった歓迎会も、最上級生となった3年生が一生懸命に場を盛り上げてくれたおかげで、次第に新入生の緊張も和らいだ様子でした。



3年生もこの行事を通じて、最上級生としての意識を高めました。

1 学年より 【応援歌練習】

4月11日から16日の4日間、応援歌練習が行われました。3日間は、1学年のみの練習、最終日は全校練習で、学校全体の一体感が生まれました。1年生は全員が最後まで頑張り、たくましい宮古工業生の一員となりました。この練習の成果は、5月21日に県営運動公園で行われる岩手県高等学校総合体育大会開会式で披露します。今年は会場で宮古商業高校との応援交流会も行います。



2 学年より 【2学年集会】

4月8日、始業式終了後に第2体育館で2学年集会が行われました。2学年団の紹介の後、学年長の山田甲二先生(電気電子科2年正担任)が、中堅学年としての心構え、学習や部活動に対する態度、進路に対する意識の持ち方についての講話を行いました。希望進路実現のためには、「元気よく挨拶する」、「提出期限を守る」、「向上心を持つ」など、日頃の意識や姿勢が大切です。また学級の仲間意識を高め、宮古工業生として必要な知識・技術の修得に努めていきます。



部活動紹介 【工作部 他】

4月2日、三陸鉄道津軽石駅で、宮古工業生によって修繕された自転車スタンドの設置式および感謝状贈呈式が行われました。

同駅は東日本大震災の津波で駅舎等が被災し、海水を被った駅前の自転車スタンドは、鉄道の運休で放置され、塗装が剥がれて錆びついていました。昨秋、市より修繕依頼を受け、工作部・交通安全委員会・ボランティア委員会で錆とりやねじの交換、塗装を行い、新品同様に修繕したものです。

